

ごあいさつ



日野市長
大坪 冬彦

日野市では、2000年(平成12年)に指定袋の有料化、戸別収集の開始という「ごみ改革」を実施し、市民の皆様のご協力により、家庭ごみの排出量の半減を達成しました。そして、その20年後の令和2年1月からは、プラスチック類ごみの分別・収集を始め、焼却ごみ量の削減や資源化率の向上を目指します。これらの取り組みは「第二次ごみ改革」として、なお一層の市民の皆様のご協力をお願いし、さらなるごみゼロ社会の実現を目指していくものです。

また、地球環境は大きく変化しており、CO₂の排出増加による地球温暖化や、プラスチック製品による河川や海洋の汚染という新たな課題が発生しております。これら世界規模の問題に対応し、持続可能な社会を構築するため、日野市ではプラスチック類の資源化施設整備によって、家庭から発生するプラスチック製容器包装や製品プラスチック類(一部資源化できないものを除き)のすべてのプラスチック類を焼却処理せず資源化します。

これらの第二次ごみ改革の取り組みもあって、日野市は政府からSDGs (Sustainable Development Goals) 未来都市に選定されました。今後はごみゼロ社会の実現を目指すとともに、SDGsの取り組みとりわけ17のゴールのうちの12番「つくる責任つかう責任」、14番「海の豊かさを守ろう」、15番「陸の豊かさを守ろう」を発展させてまいります。

本施設の特徴としては、これまでの機械選別から手選別を主体とした処理工程に変更することで、資源の品質の向上に心がけ、さらなる資源化促進に取り込むことにしました。

最後になりますが、本施設の建設や運営に深いご理解とご協力を賜ります地域の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、市民の皆様には、限りある資源を循環させ「ごみゼロ社会」の実現のためになお一層のご協力をお願いいたします。

令和2年3月

日野市クリーンセンター 施設配置図



日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設

施設概要

所在地	東京都日野市石田1丁目210番地の2			施設規模	合計 27.8t/5h
工期	平成29年(2017年)6月 5日～ 令和 2年(2020年)3月31日			プラスチック類	18.7t/5h
				不燃ごみ	6.9t/5h
敷地面積	約0.55ha			不燃性粗大ごみ	2.2t/5h
建築面積	工場棟・洗車場	2,458.53㎡	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	
延床面積	工場棟・洗車場	4,866.33㎡	建物	工場棟	地上3階建て(建屋高さ23m)

処理工程概要

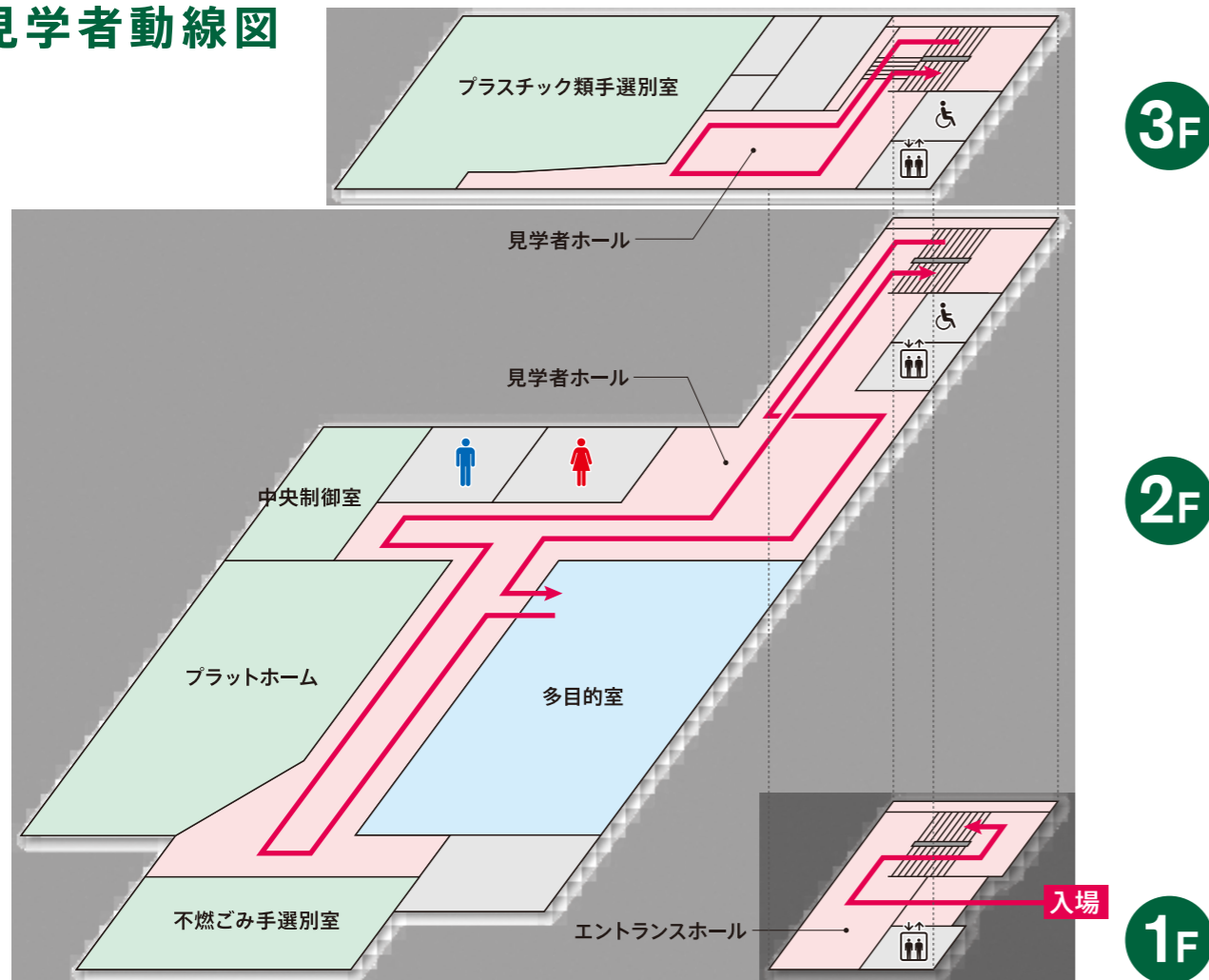
プラスチック類	破袋—風力選別—手選別—圧縮梱包	不燃ごみ	破袋—破碎—機械選別	不燃性粗大ごみ	破碎—機械選別
---------	------------------	------	------------	---------	---------

設備概要

受入供給設備	ヤード方式	貯留・搬出設備	フィルム+PPバンド掛け圧縮梱包方式
破碎設備	二軸せん断式+縦型高速回転式	集じん・脱臭設備	サイクロン、バグフィルタ、活性炭脱臭方式
破袋設備	自動機械破袋	給水設備	上水、井戸水
選別設備	自動機械選別、手選別	排水設備	下水放流(プラント排水、生活排水)
搬送設備	コンベヤ方式	雨水処理	敷地内浸透(雨水浸透貯留槽)

設計・施工監理	株式会社環境技術研究所 東京支店	設計・施工	メタウォーター 株式会社
---------	------------------	-------	--------------

見学者動線図



施設案内図



日野市クリーンセンター

〒191-0021 東京都日野市石田1丁目210番地の2
TEL 042-581-0443 FAX 042-586-6606

事業主体



〒191-0016 東京都日野市神明1-12-1
Tel. 042-585-1111

持続可能な社会を構築するためには一人一人の行動が大切です。
ごみの減量・資源化率の向上にご協力ください。



この印刷物は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。
また、再生紙を使用しています。

主要設備

プラスチック類



① プラスチック類ごみ受入ヤード

搬入されたプラスチック類ごみを一旦保管するための場所です。ここから重機で受入ホッパへ投入します。



② プラスチック類ごみ破袋機・不燃ごみ破袋機

次工程で選別しやすいように収集袋を回転する刃と固定された刃で破袋し、内容物を出すものです。



③ 風力選別機

破かれた収集袋の中のプラスチック類を軽いものと重いものに選別して、手選別をしやすくするものです。



④ プラスチック類ごみ手選別コンベヤ

手作業により汚れて資源化できないものや処理不適物を取り除きます。



⑤ 製品プラスチック破碎機

製品プラスチックを運びやすいように回転する刃と固定された刃で細かく破碎します。



⑥ プラスチック製容器包装圧縮梱包機

選別された容器包装プラスチックを運搬しやすいように圧縮し梱包します。1つ約250kg~300kgになります。



中央制御室

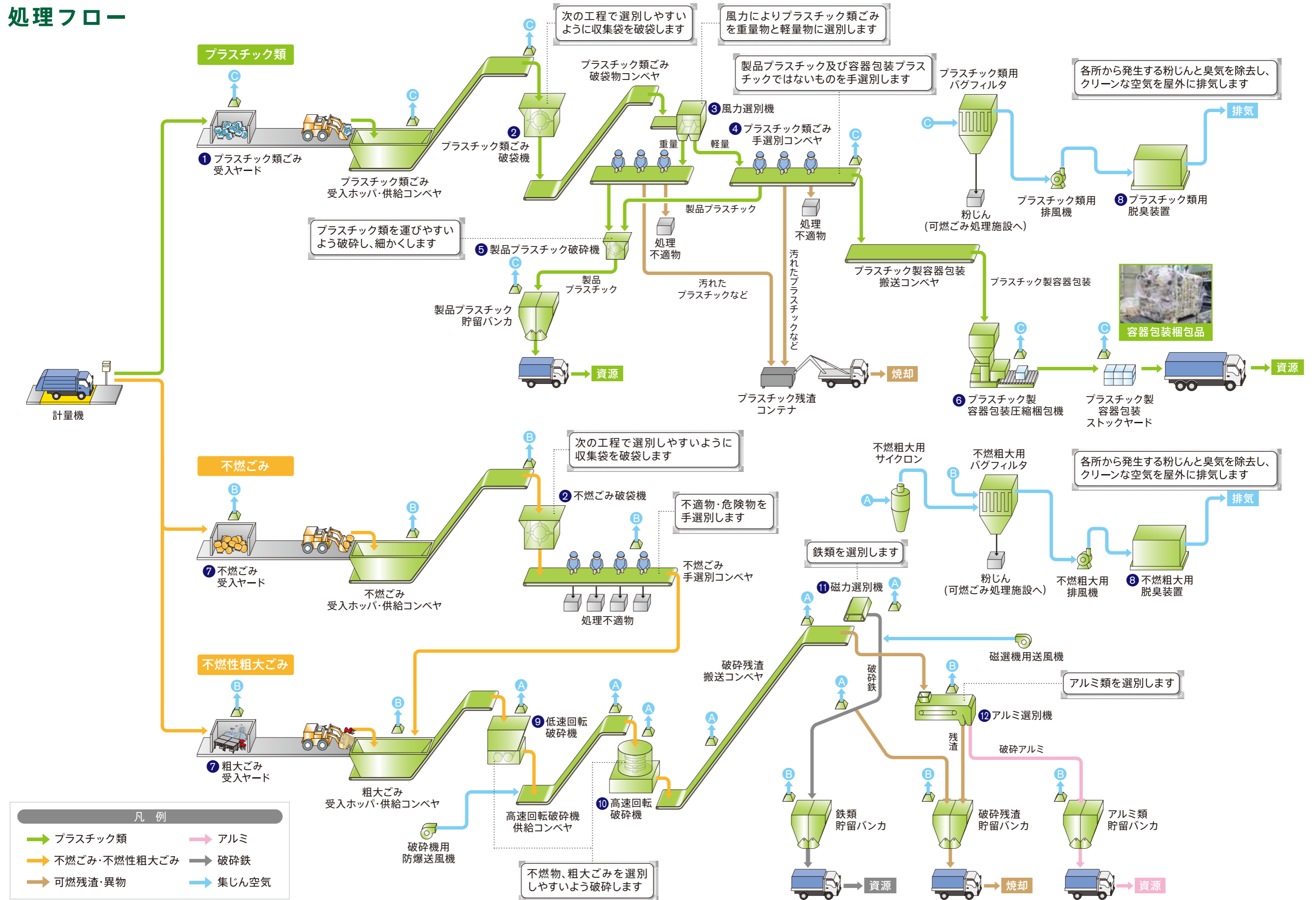
施設全体の処理ラインを管理します。機器の状態や処理の状況をテレビモニタなどで監視し、安全で効率の良い運転を行います。



見学者ホール

リサイクル品を見て体験できる設備を備えています。

処理フロー



主要設備

不燃ごみ・不燃性粗大ごみ



⑦ 不燃ごみ受入ヤード・粗大ごみ受入ヤード
搬入された不燃ごみと粗大ごみを一旦保管するための場所です。
ここからショベルローダでそれぞれの受入ホッパへ投入します。



⑧ プラスチック類用脱臭装置・不燃粗大用脱臭装置
各所から発生する臭気を活性炭で吸着して、クリーンな空気として屋外に排気します。



⑨ 低速回転破碎機
ゆっくりと回転する(約10回転/分)刃でゴミを大まかに破碎し、
次の破碎処理をスムーズにするためのものです。



⑩ 高速回転破碎機
高速で回転する(約600回転/分)ハンマーでたたくことにより、
さらに細かくするものです。細かく破碎することにより下流で選別しやすくなります。



⑪ 磁力選別機
電磁石を使って破碎物の中から鉄類を取り出すものです。



⑫ アルミ選別機
うず電流により破碎物の中からアルミ類を取り出すものです。



見学者通路
実際の設備を見学しながら資源化施設のしくみを学ぶことができます。



多目的室(団体用環境学習室)
施設の役割やごみの減量などについて解説するビデオを上映します。